

新米社労士のはじめ ての業務改善助成金

～結果は3勝1敗～

文京支部 田中浩

自己紹介（ごあいさつ）

- ▶ プロフィール
- ▶ 1987年 大学卒業
- ▶ 同年 三井生命保険相互会社就職
- ▶ 2007年 日本FP協会（NPO法人）へ転職
- ▶ 2023年 日本FP協会（NPO法人）定年退職
- ▶ 同年 社会保険労務士、ファイナンシャルプランナーとして東京都文京区で開業
- ▶ 詳細は、<https://fpsr-tanaka.jp/business-owner/>

申請案件の概要

申請時期	業種	設備投資	物価高騰等要件
9月	小売り業（ECサイト）	iPhone、Mac	○
9月	りんご園	草刈り機、剪定機	
10月	美容室	自動車	○
11月	土木	掘削機	

物価高騰等要件

原材料費の高騰など社会的・経済的環境の変化等の外的要因により、申請前3か月間のうち任意の1か月の利益率が前年同月に比べ3ポイント以上低下している事業者

物価高騰等要件に該当すると以下の生産性向上に資する設備投資が認められる

- 定員7人以上または車両本体価格200万円以下の乗用自動車や貨物自動車
- PC、スマホ、タブレット等の端末と周辺機器の新規導入

1. 小売り業（ECサイト）

▶ 現状の問題点

ECサイトへ掲載する商品の画像をデジカメで撮影して、PCに取り込み編集をして掲載しているが、デジカメ画像のPCへの取り込みとPCでの編集作業に時間がかかっている。（労働能率が低い）

1. 小売り業（ECサイト）

▶ 業務改善計画

商品の画像をiPhoneで撮影して、MacBookに送信して、MacBookで編集しECサイトに掲載することで、一連の作業をシームレスに行いことができる。またMacBookの高度な編集機能を使用することで、高画質の商品画像を投稿することが可能になる。（作業時間の短縮により、売上の機会喪失を回避（生産性の向上））

2. りんご園

▶ 現状の問題点

夏場の草刈りを乗用型の草刈り機とエンジン式の草刈り機を使用して行っている。

乗用型の草刈り機は運転できる者が限定される。

エンジン式の草刈り機は、重くて振動が大きい。（労働能率が低くなる）

冬場のりんごの樹の剪定を手作業で行っている。（効率が悪い）

2. りんご園

▶ 業務改善計画

①乗用型の草刈り機

⇒ロボット型の自動草刈り機、手押し型の草刈り機
特定の従業員に依存することがなくなった。

②エンジン式の草刈り機

⇒充電型の刈払い機（軽量化）

従業員の負担軽減（労働能率の増進）

③手作業による剪定

⇒電動式剪定バサミの導入。

従業員の負荷が小さくなった。（労働能率の増進）

3. 土木工業

現状の問題点

掘削工事を行う際に、ハンマーグラブを使用。

ハンマーグラブの問題点は、クレーンで釣り上げたハンマーグラブを地面に叩き込むイメージ。

振動や騒音があり、周辺住民の苦情も出やすいため、作業時間を限定せざるを得ず、そのため工期が長期化（労働能率が低い）



3. 土木工業

業務改善計画

マルチグリッパーを導入することで、全周回転掘削機でケーシングするのと同時に中堀が出来るため、掘削にかかる時間が一割程度削減できる。

また、マルチグリッパーはハンマーグラブのような衝撃破壊ではないため「低振動・低騒音で破砕・撤去」で掘削作業を行うことができ、周辺住民への影響を気にせずに作業ができるようになることから、作業時間に制約がなくなり、工期全体の短縮を図ることができる。（労働能率の増進）



4. 美容室

▶ 現状の問題点

社有車による送迎サービスを行っているが、エンジントラブルが多く、燃費効率が悪い。（労働能率が低い）

4. 美容室

業務改善計画

お客様送迎サービス時のエンジントラブルが解消され、送迎にかかる時間が短縮される。（労働能率の増進）

燃費効率が向上する。

お客様の満足度向上による売り上げ向上につながる。（生産性の向上）

訪問美容の実施により売り上げ増を期待できる。（生産性の向上）

苦勞した点

▶ 申請時期（最低賃金引上げ前の駆け込み）

10月以降は10月に引き上げられた最低賃金をベースにそこから賃上げをする必要

9月末まではそれまでの最低賃金をベースにそこからの賃上げでよい。

但し賃上げは9月末までに実施しする必要。

（交付申請書が労働局到着以降）

2024.8							2024.10						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8	9	10	6	7	8	9	10	11	12
11	12	13	14	15	16	17	13	14	15	16	17	18	19
18	19	20	21	22	23	24	20	21	22	23	24	25	26
25	26	27	28	29	30	31	27	28	29	30	31		

9

2024

September

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16 敬老の日	17	18	19	20	21
22 秋分の日	23 振替休日	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5

気を付けたこと（交付申請書の書き方と留意事項）

▶ 事業実施計画

- ▶ ※生産性向上、労働者の労働能率の増進に効果があることを具体的に記入してください。
- ▶ (1)現状の作業方法(問題点)、所要時間等
- ▶ 現在、お客様が来店されたとき、商品の会計をすべて手作業で行っており、繁忙期のレジ待ちの行列や、会計ミスなどが、頻発している。また、在庫管理や売れ筋商品の動向把握、顧客管理もできていない。
- ▶ また、毎日在庫の確認や精算処理を2時間かけて行っており、そのために営業時間の短縮を行う日もある。
- ▶ (2)設備投資など業務改善計画の内容
- ▶ POSレジシステムを導入することにより、精算処理の効率化だけでなく在庫管理や売り上げデータが一元管理され、繁忙期のレジ待ちが削減され生産性向上が見込まれる。
- ▶ (3)計画の実施による生産性向上、労働者の労働能率の増進、業務改善の効果
- ▶ POSレジシステムを導入することにより、①手作業の会計負担が軽減される。②お客様の待ち時間が短縮される、③在庫管理や精算処理が効率化される、④売上データをマーケティングに活用できるほか、日々の在庫の確認や精算処理を20分でできるようになるので労働者の労働能率の増進が見込まれる。



ご清聴
ありがとうございました！

文京支部 田中浩